

〔宮内町長就任のあいさつ〕

## 3期目の町政で目指す 元気なまち おかがき

昨年12月25日に行われた岡垣町長選挙で、宮内實生町長が無投票で3選を果たしました。

ここでは、宮内町長の就任のあいさつと3期目に取り組む「5つの約束」を紹介します。

問い合わせ 企画政策室へ

みやうちじつお  
宮内實生

昭和22年5月26日生まれ、69歳。民間企業に勤務した後、昭和43年3月に岡垣町の職員に。社会教育課長、企画政策室長などを歴任し、平成18年3月に退職。その後漁業に従事し、平成19年5月に岡垣町議会議員に就任。平成20年12月の町長選挙に出馬し初当選。2期8年の間町長に就き、平成28年12月25日に3回目の当選を果たす。県立水産高等学校卒業。岡垣町出身、波津区在住。



私は、平成21年1月に町長に就任して以来、今できることや今しなければならぬこと、今しかできないことを常に意識し、政策の実現に向けて迅速な対応を心掛けてきました。また、時間がかかるものは総合計画などに位置づけ、段階を踏んで取り組みました。

平成23年度から着手した駅南側広場、自由通路、海老津白谷線道路の整備は、昨年12月に完了しました。町民の皆さんのご協力に感謝申し上げます。今後も、周辺地域の開発事業などを進めますので、引き続きご支援とご協力をお願いいたします。

さて、これまでの2期8年の間に、地方自治体を取り巻く環境は大きく変化してきました。人口減少社会と地方創生時代の到来です。今後、岡垣町でも人口減少が加速することが予想されます。このような中、平成27年度に、前期基本計画の5年間の取り組みを評価した結果と本格化した人口減少など、社会動向の変化を踏まえた「第5次総合計画後期基本計画」と人口減少などに対応するため「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。これらを策定するために行った住民意識調査の結果を見ると、環境の良さなど岡垣町の住み良さの魅力が、転入を決めた理由に十分結びついていないことが分かりました。今後、定住

促進や空き家対策に取り組むためには、新たな団地開発などに加え、町の住み良さの魅力を高め、それを町外へ発信することが重要だと考えています。

私は公約として、子育て・安全安心・自然・健康・産業をキーワードとする5つの約束を掲げました。これを「第5次総合計画後期基本計画」「まち・ひと・しごと創生総合戦略」と連動させ、政策として実現することで、住み良い町の魅力を高め、その発信につなげたいと考えています。

岡垣町の住み良さを次世代に引き継ぐためには、私自身がまちづくりの先頭に立つのはもちろんのこと、町の職員が元気に意欲を持って業務に取り組む環境整備も必要です。このため、組織改革や行政改革にも積極的に取り組み、一つになって町政を運営していきますので、町民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。



▲3期目初登庁日、職員に訓示を行う宮内町長

宮内町政3期目に取り組む

# 5つめの約束

## 子どもたちが健全で豊かに育つための環境を

- 子ども医療費の負担軽減など、子どもを産んで育てやすい環境を整備します。
- 子どもたちが心身ともにたくましく生きる力を育てる教育環境の整備を図ります。
- 中学校の英語教育改革を進め、ICT機器の活用による学力の向上を図ります。
- 民間の東部保育所建て替えによる定員拡大を支援し、待機児童の解消を図ります。



## 素晴らしい自然環境を守り環境に優しいまちづくりを

- 森林環境税を活用し、荒廃森林の整備と水資源を蓄える森林の保全を行い、地下水源の確保に努めます。
  - 三里松原の松枯れ、塩害、海岸浸食対策を周辺市町と協力して国や県に要望します。
  - 地下水のブランド化を進めます。
- ## 健康で生きがいの持てる暮らしを支えます

- 住み慣れた地域での生きがいづくり、健康づくり、介護予防を支援する地域包括支援システムを構築します。
- 寿会連合会と連携し、高齢者の交流、社会参加、健康づくり、介護予防を支援します。
- 住民の健康意識を高め、生活習慣病を早期に発見するため、特定健康診断などの受診率の向上を図ります。
- ボランティアポイント制度を拡充し、ボランティア活動を支援します。



## みんなが安全・安心・心豊かに暮らせる町に

- 矢矧川や戸切川の自然環境を守り、地域の皆さんの声を大切にしながら、県の支援を受け、自然災害防止の治水事業を進めます。
- 青パトによる防犯パトロールを推進します。また、JR海老津駅周辺の安全を確保するため、駅前交番の早期完成を目指します。
- 地域情報伝達無線システム（戸別受信機）の整備を進め、緊急・防災情報やコミュニケーション情報の速やかな伝達を図ります。



## 農業、漁業、地場産業の育成と企業の誘致を

- 産業の振興を図るため、生産現場の意見を尊重し、農林水産物の販路・消費拡大、担い手の育成、特産品の開発を進めます。
- 商工会と連携して、中心市街地の活性化に取り組みます。
- 国道3号バイパス4車線化の早期着工を図り、地域の産業、経済、文化、観光の発展と住民生活の向上を図ります。
- 海老津駅南側地域への企業・教育・研究施設などの誘致を図ります。
- 急増する空き家対策に、協議会を設置し取り組みます。
- 三吉町営住宅の建て替え事業を進めます。

